令和５年９月 11 日

令和３事業年度財務諸表等の一部訂正とお詫びについて

令和３事業年度財務諸表における「キャッシュ・フロー計算書」、「事業報告書」及び「決算報告書」において、下記のとおり表記に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

なお、この訂正による他の財務諸表への影響はありません。

記

1　キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

Ⅰ　業務活動によるキャッシュ・フロー	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 342,367,561
人件費支出	△ 548,564,014
その他の業務支出	△ 75,422,480
運営費交付金収入	1,043,245,000
受託収入	300,000
研究業務収入	41,564,309
その他の業務収入	4,363,952
小　計	123,119,206
利息の受取額	4,115
第4期中期計画終了に伴う国庫金返納額	△ 450,993,806
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 327,870,485

【訂正後】

Ⅰ　業務活動によるキャッシュ・フロー	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 342,367,561
人件費支出	△ 548,564,014
その他の業務支出	△ 75,422,480
運営費交付金収入	1,043,245,000
受託収入	0
研究業務収入	41,864,309
その他の業務収入	4,363,952
小　計	123,119,206
利息の受取額	4,115
第4期中期計画終了に伴う国庫金返納額	△ 450,993,806
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 327,870,485

※訂正箇所には、下線を付しています。

２　事業報告書

【訂正前】

P13　10．業務の成果と使用した資源との対比　（単位：百万円）

項　　目	自己評価	予　算
１．国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B	380
⑴日本産酒類の競争力強化等	B	81
⑵酒類製造の技術基盤の強化	A	122
⑶酒類の品質及び安全性の確保	B	73
⑷酒類業界の人材育成	C	10
⑸酒類の適正課税及び適正表示の確保	B	33
⑹アウトリーチ活動・その他国民サービスの充実	B	60

【訂正後】

P13　10．業務の成果と使用した資源との対比　（単位：百万円）

項　　目	自己評価	予　算
１．国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B	380
⑴日本産酒類の競争力強化等	B	98
⑵酒類製造の技術基盤の強化	A	126
⑶酒類の品質及び安全性の確保	B	71
⑷酒類業界の人材育成	C	11
⑸酒類の適正課税及び適正表示の確保	B	33
⑹アウトリーチ活動・その他国民サービスの充実	B	41

※訂正箇所には、下線を付しています。

3　決算報告書

【訂正前】

区　　分	予算金額	決算金額	差　額
業務経費	380,216,000	344,959,730	35,256,270
うち 日本産酒類の競争力強化	81,294,370	72,967,223	8,327,147
酒類製造の技術基盤の強化	122,355,130	114,703,604	7,651,526
酒類の品質及び安全性の確保	72,867,100	60,299,319	12,567,781
酒類業界の人材育成	10,422,000	9,159,540	1,262,460
酒類の適正課税及び適正表示の確保	33,148,100	31,159,724	1,988,376
アウトリーチ活動・その他国民サービスの充実	60,129,300	56,670,320	3,458,980

【訂正後】

区　　分	予算金額	決算金額	差　額
業務経費	380,216,000	344,959,730	35,256,270
うち 日本産酒類の競争力強化	98,052,370	91,582,271	6,470,099
酒類製造の技術基盤の強化	125,975,130	118,317,395	7,657,735
酒類の品質及び安全性の確保	70,887,100	58,330,085	12,557,015
酒類業界の人材育成	10,782,000	9,510,454	1,271,546
酒類の適正課税及び適正表示の確保	33,148,100	31,159,724	1,988,376
アウトリーチ活動・その他国民サービスの充実	41,371,300	36,059,801	5,311,499

※訂正箇所には、下線を付しています。